



1 出席者・参加者

- ◆ 安倍総理大臣が、ケニヤッタ・ケニア大統領（開催国）、デビー・イトゥノ・チャド大統領（AU議長）と共に共同議長。
- ◆ アフリカ**53**か国、国際機関等、民間セクター、NGOから約**11000**名以上（会場内のサイドイベント含む。）が参加。
- ◆ 総理同行ミッションとして、**77**団体の企業及び大学等の代表が参加。

2 セッションの概要

- ◆ 開会セッション：安倍総理から、我が国として、2016年から2018年の3年間で、我が国の強みである質の高さ（クオリティ）を活かした**約1000万人への人材育成（エンパワーメント）を始め、官民総額300億ドル規模の質の高いインフラ整備や強靱な保健システム促進、平和と安定の基盤作り等のアフリカの未来への投資を行う**旨発表した。また、この取組は、本年のG7伊勢志摩サミットの成果を実践する第一歩目であり、G7議長国として着実にその成果を実現する旨表明した。
- ◆ 全体会合 1：アフリカ各国首脳等から、国際資源価格の下落、エボラ出血熱の流行と保健システムの脆弱性、平和と安定に関する問題等のアフリカが直面している新たな課題への対応について活発な議論が行われた。また、各国首脳から、安倍総理の基調演説に触れ、日本の取組に対する高い評価が表明された。

◆ テーマ別会合 1（経済の多角化・産業化）

国際資源価格の下落への対応として、一次産品に依存した経済構造の改革を取り上げた。道路・港湾整備や再生可能エネルギー（地熱発電等）を含む質の高いインフラ投資や、フードバリューチェーンの構築、産業人材育成等の重要性につき参加者間で認識を共有。



◆ テーマ別会合 2（強靱な保健システム）

公衆衛生危機への対応強化及びユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の2つを取り上げ、国際的な取組とあわせて各国の危機対応能力及び予防・備えを強化するとともに、アフリカが直面する広範な保健課題に対処するため、UHCの推進が重要であることにつき参加者間で認識を共有。



◆ テーマ別会合 3（社会の安定化促進）

社会の不安定化や気候変動による災害リスクに対応するため、社会の安定化促進について取り上げた。女性や若者の職業訓練を通じた雇用創出、治安能力の強化、防災や食料安全保障等の重要性につき参加者間で認識を共有。



◆ **全体会合 2**：安倍総理から、政府として民間企業の対アフリカ進出を後押しするため、投資協定及び租税協定交渉を推進し、「日アフリカ官民経済フォーラム」を立ち上げる旨発言。榊原経団連会長を始めとする日本の経済界代表から日本企業の知見と技術を活用したアフリカ開発への取組を紹介するとともに、アフリカ首脳及びアフリカ経済界代表から、日本企業の取組に対する評価と更なる投資促進への期待が述べられた。

◆ **閉会セッション**：成果文書として「**ナイロビ宣言**」を採択した。



3 個別会談等

(1) 安倍総理及び岸田外務大臣による各国・国際機関等との会談

安倍総理は、26名のアフリカ的首脳級参加者との間で個別又はグループでの会談を行った。また、岸田外務大臣は、10名のアフリカの閣僚級参加者及び7名の国際機関の長との間で個別又はグループでの会談を行った。



(2) 閣僚級事前会合

TICADVIに先立ち、8月25日に、岸田外務大臣は、アミナ・ケニア外務長官及びヌール・チャド経済・開発計画大臣と共に閣僚級事前会合を開催し、「ナイロビ宣言」の内容を閣僚レベルで固めた。

(3) 関連会合（サイドイベント）

◆ 安倍総理

- ✓ ジャパンフェアの視察
- ✓ アフリカにおけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジに関するハイレベルイベント
- ✓ STSフォーラム
- ✓ 笹川アフリカ協会主催セミナー
- ✓ 日本政府主催レセプション
- ✓ JICAハイレベル・パネル
- ✓ 日本・アフリカ・ビジネスカンファレンス



◆ 岸田外務大臣

- ✓ UNDP主催「アフリカ人間開発報告書」の発表式典

◆ 武井外務大臣政務官

- ✓ 国連主催の「TICADが後押しするアフリカのグッドガバナンス」
- ✓ 日仏共催の「アフリカのための日仏パートナーシップ」に出席した。

